

| | |
|---|--|
| イミノクタジン酢酸塩・有機銅水和剤 ベフキノン水和剤 | 取扱メーカー： サンケイ 原体メーカー： 日本曹達，—— |
| 成分： イミノクタジン酢酸塩……………7.0% 8-ヒドロキシキノリン銅〔銅 PRTR・1種〕 ……50.0% | 性状： 黄緑色水和性粉末45μm以下 毒性： 劇物 消防法： —— |

【品目特性】 ……………

●従来の薬剤と作用機作が異なるイミノクタジン酢酸塩と耐性菌の事例がない有機銅との混合剤なので、各種の耐性菌に対しても有効である。また、薬剤の作用点が多いので、単一作用点の薬剤に比較すると、耐性菌に対する懸念は少ない。

●灰色かび病菌に対する in vitro 試験で、孢子発芽、発芽管伸長及び菌糸生育に強い阻害作用を示す。

●各々、広い抗菌スペクトラムを持つ有効成分が効果的に配合されているので、各種の主要病害を確実に同時防除でき、非常に省力的である。

●発病前～発病初期に予防的に使用することにより、持続効果が高く、優れた効果を発揮する。

●有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】 ……………

〈みかんに対する最適使用時期〉

●灰色かび病防除を主目的に開花期～幼果期に使用して、そうか病及び黒点病などの広範囲な病害の同時防除が可能。

〈りんごに対する使用方法〉

●落花後40日頃～収穫30日前までが使用可能な時期である。例えば、輪紋病及び斑点落葉病の防除を主目的に使用して、すす点病、すす斑病、褐斑病などの広範囲な病害の同時防除が可能。

〈なしに対する使用方法〉

●6月以降～収穫45日前までの輪紋病の防除を主目的に使用して、黒星病・黒斑病の同時防除が可能。

〈麦類に対する使用方法〉

●根雪前に1～2回使用する。各種の雪腐病に対して有効。

【薬効・薬害等の注意】 ……………

●ボルドー液、石灰硫黄合剤、ジネブ剤、水和硫黄剤との混用はさける。

●りんごに使用する場合、樹勢の弱い場合に連続散布すると、生理落葉を助長することがあるので連用はさける。特に、ゴールデン及びゴールデンからの育成品種には注意する。

●適用作物（りんご、なし）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

●適用外作物（だいず、あずき、えんどう）への薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

【安全対策上の注意】 ……………

●桑にはかからないように注意する。

●藻類に影響を及ぼすおそれがあるので、使用時は注意。

●散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処理する。



【適用と使用法】

| 作物名 | 適用病害名 | 希釈 倍数 | 10 a 当り 使用液量 | 使用時期 (収穫前) | 本剤の 使用回数 | 使用 方法 | イミノクタジンを含む農薬の総使用回数 | 有機銅を含む農薬の総使用回数 |
|----------------------|-----------------------------------|-----------------|-----------------|---------------|-------------|--|--|--------------------------------------|
| み か ん | 灰色かび病 そうか病 黒点病 | 1000 倍 | 200 ～ 700 ℓ | 30 日 前 ま で | 3 回以内 | 散布 | 3 回以内 | 5 回以内 |
| かんきつ (みかん を除く) | 灰色かび病 黒点病 | | | | 2 回以内 | | 2 回以内 | 3 回以内 |
| り ん ご | 斑点落葉病 | 750 ～ 1000 倍 | | 14 日 前 ま で | 3 回以内 | | 8 回以内 (液 剤 及 び 水 和 剤 は 合 計 6 回 以 内 (開 花 期 以 降 は 3 回 以 内), 塗 布 剤 は 2 回 以 内) | 7 回以内 (塗布は3回 以内, 散布 は4回以内) |
| | 輪紋病 すす点病 すす斑病 褐斑病 炭疽病 | 1000 倍 | | | | | | |
| な し | 黒斑病 黒星病 輪紋病 | | | 45 日 前 ま で | 4 回以内 | | 5 回以内 (塗布剤は2回 以内, 液 剤 は 1 回 以 内) | 12 回以内 (塗布は3回 以内, 散布 は9回以内) |
| 麦 類 (小麦を除く) | 雪腐小粒菌核病 紅色雪腐病 | 300 倍 | 100 ～ 200 ℓ | 根雪前 | 2 回以内 | 3 回以内 (種子への処理 は1回以内, 散 布は2回以内, 出穂期以降は1 回以内) | 2 回以内 | |
| 小 麦 | | | | | | 4 回以内 (種子への処理 は1回以内, 散 布及び無人航 空機散布は合計 3回以内, 出穂 期以降は1回以 内) | 5 回以内 (種子への処 理は1回以内) | |